

●合意形成のプロセス・進め方

Q 基本計画(案)についてかなり具体的なものとなっているが、町民の意見を聞いて、どの部分、又はどの程度変更の余地があるのか。

A これまでも素案のパブコメや推進委員会の意見うち、取り入れられるものは取り入れて計画(案)としている。この計画(案)に対しても全般的に意見をいただきながら反映できるところは反映していく。

Q 基本計画(案)に住民参画というページがあるが個人的には住民の参画を得て進められているとは思えない。人口から考えても区の意見を聴いたというのはわずかな数字であり、「住民の声を聴いている」というのは思い込みだと思う。

A 従来行っていなかった職員が出向いての意見聴取は、昔から町にお住まいの方に生の声を直接意見として聞くことができている。人数についても限界もある中でベストを尽くしている。

Q 見直しの内容は設計者も同じで同じメンバーで進めていることなど、2年前の選挙の期待を裏切るものであると感じている。

A 「凍結・見直し」という公約どおり進めている。その中で設計者を正当な理由で選んでいることも既に表明済みであるし、この問題を先送りにしても何ら解決にな

らないと考え、しっかりと見直しを進めている。

Q 住民説明会にもう少し人が集まればいいと感じている。他の方の意見を聞いていると例えば、町長選の結果という同じ「事実」であっても個々の「認識」で捉え方が変わるという印象。私の認識では住民参加については、理想まではまだ遠いが、確実に改善しているという認識。説明会やパブリックコメントなどの手法を用いて丁寧な進め方をしている。

A この2年間の見直し期間の合意形成のプロセスの時間はかかっているが無駄ではない。振り出しに戻ることをせず、欠けている部分は住民の意見を聞きながら補足をし、さらに良い事業にしていく。これからも情報発信はしつづけていく。

- ・やり方は別として、事業に関する住民投票を考えてもらいたい。
- ・職員の仕事のしやすさが基本的に必要な機能だと考えている。

●事業費・財政

Q 将来の人口、税収予測やそれに伴う財政シミュレーションを行ったうえで事業費の妥当性を検証していくべきではないか。財務のシミュレーションをきちんとやったうえで初めてこの事業は成立する。

A 長期振興計画の人口ビジョンが一つの参考にはなるが、住民登録をしていない常住者が7000人程おり、その他に季節滞在者や宿泊客などもいるため、住民登録人口のみの将来予測だけでは、危険だという判断をしている。町税の大半を固定資産税で占めており、その収入を落とさないために軽井沢の魅力を維持するということも大きな指標としている。財務の説明についてもご指摘もあるが現在は今の形で進めるのがベストだと考えている。綿密な財務諸表というのは民間企業ではないので考えてはいない。

Q 新しい施設が今の庁舎、中央公民館と比較してどのくらいランニングコストが抑えられるのかというのを今後公表してほしい。

A ライフサイクルコスト(LCC)については現段階ではまだ設計をしていないのでお答えできないが、エネルギー(光熱水費)の部分についてはZEBready以上を目指すので半減以上の削減を目指す。これにより全体のライフサイクルコストも大きく下がるため、今後設計の段階で皆様にお示しする。

Q 15歳未満の人口が少なく、高校以降は町外に出る傾向がある。町のお金のかけ方として若年層が育つような施策を進めてほしい。

A 子育てに対する施策もしっかりやっていきたい。

Q パブコメの中に真に必要な機能を最低限の範囲で…と書いてあるが、まだ削れるということでもいいか。

A 今の規模を必要最低限として考えているが、今後もより縮減できるよう検討していく。

Q 計画(案)65ページにある今後の将来予測の設定根拠と町としての想定値をどう考えているのか。また、キャップをはめる(予算の上限を決める)時期はいつなのか

A 平成30年ごろから今までの建築単価の上昇のうち、一定期間の急勾配、緩勾配、その中間というシミュレーションをしている。令和9年3月の発注時期には議会に提案して予算を定めるようになるが今のところいつ予算のキャップをはめる時期はまだ決まっていない。

Q 事業費の説明自体について理解はできたが、住民からすれば、いくらインフレが進んでいるからといっても、高いと感じてしまうと思う。これについてはいくら説明をしたとしても感情的に非難を浴びてしまうことを懸念している。そのため、財

政的な上限は必要だと思う。また、これについて議会の反応はどうか。

A これまで総事業費としてお示ししていないものもあったが、情報公開の観点から今回想定できるものをすべて計上させてもらった。議会については今後都度予算の議決をいただいたうえで事業を進めていくこととなる。参考までに建築のための基金が現在 33 億、着工時には 40 億を見込んでいる。これまで毎年 3 億円程度基金を積みこんでいたが、工事が始まれば今の積み立て以下の金額が返済に回り、現状 200 億の一般会計のうち、借金返済は 1 %の 2 億円ほどでこれは、非常に健全な財政状況といえる。

- ・町の財務処理に関する信頼感を住民に示してほしい。
- ・コンストラクションマネジメントについては導入してもらいたい。

●交通関係全般（駐車場・進入路・周辺道路）

Q 軽井沢町特性(東西に長い、こどもの東側の人口が減り西側の人口が増えている)

といったことを考えるとこの場所に来る移動手段が重要になる。特に車を持たない高齢者やこどもの足をいかに確保していくのかということ町はどう考えているのか。高齢化が進んでいくので交通の重要性が増してくる。しっかりと検討しなければこの町に住んで居られないという状況になる可能性もある。

Q 素晴らしい計画だと思っているが、この施設ができることによって渋滞も増す可能性がある。人口も微増している。町として渋滞緩和の対策や交通計画を立てているか。

A (令和6年度から令和7年度にかけて)町内全体の交通計画の策定を進めている。全体計画の中で町内循環バスを中心にデマンド交通やシャトルバスなどそういった具体策も検討しており、車を持たない方の移動についても検討している。

Q 近隣住民として町道鶴溜線の拡幅について、交通量の増加、渋滞、安全性などについて不安を感じている。また、拡幅の範囲はどの辺りまでか。

A 拡幅範囲は国道との交差点から、中央公民館までの範囲となる。現状すれ違いが難しい幅員だが、拡幅により安全に通行ができるようになる。また渋滞等も交通

量調査を踏まえて事業を進めているためご理解いただきたい。

Q 素案 16 ページの駐車場計画について、町道鶴溜線がメイン出入口になると思うが  
拡幅でどの程度安全になるか心配。また、国道からの進入路についても本当にここ  
に必要なのか。また駐車場の位置もここで良いのかまだ検討が必要であると考え  
る。

Q 施設へのアクセスが甲山線を含めると 3 つあるが、本当に必要か、渋滞のもとに  
ならないか再度検討が必要

Q 駐車場計画として奥に計画されていて町道鶴溜線から出入口をとることは良いと  
考えている。ただし、この計画には国道からの信号と右折レーンが必須だと考え  
る。

Q 国道からの進入口については目的がはっきりしないと町道鶴溜線の改良が無駄に  
なる。

Q 進入路の関係で軽井沢病院の救急車が右折に苦労している状況を見るともう少し  
安全にならないかと感じている。

A 周辺整備事業として病院との連携も考えている。また、進入路も現時点ではこの 3  
か所を想定しているがまだ決定ではないので今後検討を深めていく。

A あくまで主たる進入路は町道鶴溜線なので国道からの進入路を抜け道扱いにしないよう検討している。

A 森の庁舎というコンセプトから国道側の全面に駐車場は設けない方針。そのうえで、現在恒常的に役場利用のために停める駐車場の台数分は入り口近くにしっかりと確保し、台数が多くなる場合には北側に安全に駐車していくということを検討している。

Q 2か所のロータリーのメインとサブの違いと構内道路の関係性がはっきりしていないため再考が必要ではないか。

A メインロータリーには病院との間に町内循環バスの停車を予定しているためメインとしてつけたが、再考が必要だと感じた。今後病院ともしっかりと話を詰めていく。

- ・施設構成についても、駐車場との関係性で住民の利便性と満足度が大きく変わる。
- ・美術館ではなく庁舎であるので安全性を第一に考えてほしい。停めにくいがために、病院に駐車するということがないようにしてもらいたい。

●環境・歴史文化

Q 計画(案)52ページのランドスケープの中に(2)景観軸・歴史軸を取り入れるとあるが具体的に何を計画しているのか。交流センターの文化的位置づけについても重要視すべき。

A しっかりと全てを表せるかはまだ検討中だが、この施設の場所を中心に各方角に軽井沢の歴史や文化を伝えられる仕掛けをしていきたい。

Q 緑の庁舎を殊更強調しているが、町全体の問題ではないか。軽井沢全体が緑であるというイメージには共感するので、昨今の伐採が進んでいる町全体の状況に問題がある。

A 本計画では庁舎周辺整備事業に限定して触れているが、町全体に緑が必要であるという認識は同じだと思うので意見として賜る。

●建築計画・防災計画

Q これから設計に入っていく中で不整形ではあるが面白いプランになると思う。庁舎と公民館機能は用途や時間帯も違うのでセキュリティ面は気になる。また、活発な活動と静かな活動など各活動の調査をしっかりともらって設計に落とし込んでもらいたい。

A 庁舎と交流センターが一体化したことは重要だと考えている。そのうえで、町道鶴溜線側は住宅地に配慮した環境を、国道面は逆に音が出しやすい環境を、病院側は活動がある程度見えるがあまり騒がしくならない環境を。などしっかりと検討していきたい。また、年末の中高生アンケートでも、中央公民館の存在を知らない方も多く、お金をかけないで滞在できる場所が少ないという認識もある。軽井沢病院の玄関口でバス待ちの中学生が座っているという状況も見ているのでそういった問題も解決できる場所にしていきたい。

Q 100年建築としているが本当に実現できるのか。

A 民間の建物よりもコンクリートの強度はあげており、躯体を100年持たせるようにする。

Q ハザードマップに入っているが溶岩が流れてきたときはどうするのか。

Q 台風災害の時に公民館が避難所として開設されていなかった。

A 基本計画(案)39 ページに各災害に対してどういった対応をしていくかを記載している。万が一火砕流が流れてくるような事態になった場合には、全町避難することとなる。

・防災の観点からは集約ではなくて各分館をもっと活用したほうが良いと考える。

●民間事業者との連携

Q 交流センター(公民館機能+新たな要望)の必要性について疑問がある。中軽井沢駅周辺の民業を圧迫する可能性もあり、利権がらみの話ではないかとも疑う。

A 交流センターの目的は自然と人が集まるような“居場所づくり”であり、民間企業の誘致を目的としているわけではない。当然利権を貪るといった話でもない。また、学校帰りの子供の立ち寄り場であったり、高齢者の外出の機会であったりする場を想定しているのでそのような場所に住民のニーズとして飲食機能が必要となれば町内の事業者の皆さんにも参加してもらえるかなどを検討していく。再度申し上げが民間誘致ありきでは決していない。

Q 病院にも小さな食堂があって、新施設と合わせて1か所に飲食機能があれば、町の収入にもなるし良いと思う。

A 計画(案)の59ページあたりにそういった民間の力を借りていくといったことも検討している。

Q くつかけテラスは中軽井沢商店街の活性化を目的としていたと思うが、民間企業を誘致した場合、新庁舎のエリアは駐車場も大きく条件も良いため、中軽井沢駅エリアの店舗と競合しないようにしてもらいたい。

A 当然競合しないようにするし、連携を図っていく考えである。

Q 連携という観点でいけば郵便局や銀行も新施設があれば住民にとって便利だと思う。集められるサービスは集約化することで利便性が上がると思う。

A 相手方もあることなので即答はできないが、意見として今後の参考とさせていただく。

●その他

Q 最近テレワークが進み、二拠点生活等で若い移住者が増えていると感じているが町長はどう感じているか。

A 教育移住で若い方が入っていると感じているし、事実西部小学校は校舎を増築している。そういった子供たちにこの町に定着してもらう施策も進めており、私立だけではなく公立にも力を入れている。さらに信州オープンドスクールという取り組みもはじまる。

Q こどもが中央公民館を知らない理由は何か

A 閉じているイメージで利用する縁がないような環境だからと推察する

Q 病院の玄関で中学生がバス待ちをしているのはこの事業以前の問題であり、すぐにでも解決すべき行政の問題ではないか。

A 新施設になったときの安全な居場所ももちろんだが、実態確認のうえできることから対応していく。

・木もれ陽の里の後利用もしっかりと説明してほしい。